



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより

第9巻1号

(季刊誌)

2007年4月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

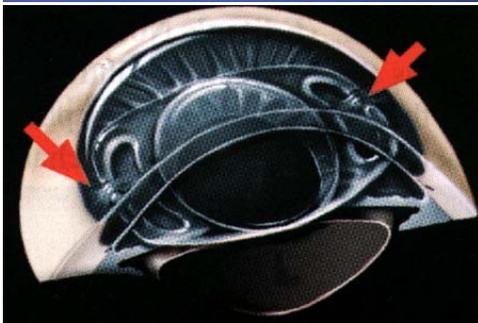
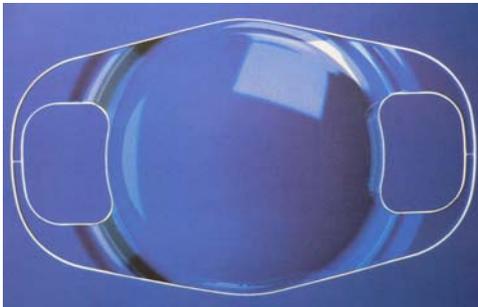
〈ホームページ〉<http://www.nishi-ganka.or.jp> 〈e-mail〉office@nishi-ganka.or.jp

フェイクック アイ-IL

Phakic IOL(有水晶体眼内レンズ)

「高度近視」や「角膜が薄くて」^{レーザー}LASIKでは矯正できなかった方
Phakic IOL なら矯正できます!!!

Phakic IOL は白内障手術を応用した手術です。白内障治療では、水晶体を取り除き代わりに眼内に人工レンズを挿入しますが、Phakic IOL では水晶体をそのまま残し、前房にレンズを挿入する手術です。図矢印のように虹彩に固定します。またこの前房レンズ(Artisan Lens)はプラスチックの一種で作られているので生体反応を起こしません。



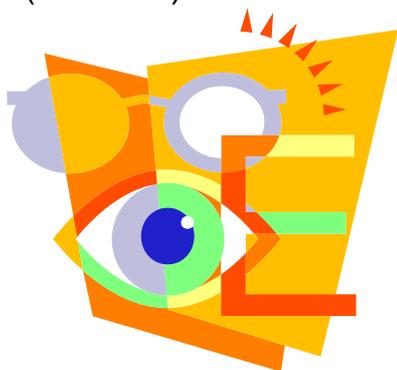
手術時間は約 20 分。局所麻酔で手術を行いますので痛みはありません。両眼手術する場合は最低 2 週間おきます。術眼が確実に治癒し視力の改善を確認してから他眼の手術を行います。当院のデータでは手術一週間後・裸眼で 1.0 以上見える割合は 60%、0.8 以上見える割合は 92%と非常によい結果を得ています。

またコンタクトレンズで矯正できない円錐角膜は Toric Phakic IOL(乱視有水晶体眼内レンズ)で矯正でき、非常に良好な視機能が得られます。

屈折矯正手術の詳細は当院のホームページを御覧下さい。[西眼科病院]と検索すればヒットします。また当院では月に一度(第一土曜日 11:00am~)5 階屈折矯正手術外来にて LASIK 説明会(視力回復の説明)を開催しております。ご興味がある方は是非この説明会へお越しください。スタッフが判りやすく説明いたします。(TEL:06-6981-1132 担当：兒玉・十河・立道)

23 ゲージ硝子体手術

「23 ゲージ硝子体手術」を導入しています。23 ゲージ(0.72mm)とは？硝子体を切除する器具の太さを表す単位です。従来、もっと太い 20 ゲージ(1.15mm)や、またより細い 25 ゲージで硝子体手術を行っていました。この



23 ゲージ硝子体手術は 20 ゲージ手術の長所を持ち、25 ゲージ手術の短所を補う手技として最近注目されています。その特徴は、切開創を短時間で作成でき、切開創の工夫によって創口の縫合が不要なことです。これによって術後の異物感や不快感が大幅に減り、回復も早くなりました。結果、入院期間(症例により異なります)が1~5日と大幅に短縮されました。

Please! お願い

- 薬局で貰う「薬のパフレット」を診察時に必ず持参していただき、投薬時「必要な薬」をご指定ください。
- 月に一度「保険証」を受付窓口へご提示ください。
- 住所・電話番号が変更になりましたら、受付窓口へご申告ください。



祝受賞☆Charles D. Kelman Innovator's Award

西 起史(院長)は2007年度 Charles D. Kelman Innovator's Award という名誉ある賞を受賞することとなりました。この賞は世界の白内障内レンズ・屈折矯正手術分野(眼科)の研究で最も優れた業績をあげた眼科医に与えられる最高の名誉ある賞です。2007年4月27日-5月2日アメリカ San Diego で開催の ASCRS/ASOA(アメリカ眼内レンズ学会)で受賞記念講演(4月30日)を行います。

